

'00

第九

のべおか第九だより(号外)
2000年6月25日(日)

発行 のべおか「第九」を歌う会
事務局(延岡総合文化センター内)

882-0852 延岡市東浜砂町611番地2
電話(0982)22-1855



@末廣先生の指導(6月4日)

その付近の注意... 総合・ソプラノ・アルト・テノール・バス
その部分の注意... 総合・ソプラノ・アルト・テノール・バス
...お話

(ほかのパートの注意でも関連があります。全部読んでください。)

257 【Dei-ne Zau-ber ~】 ちょっとみなさん、低いですよ。お疲れですか?全体、音程が低いですよ。

260 【streng ge-teilt; al-】 “al-le Men-schen” というのをもっと言葉の上でも強調するために“al-”と前
に出てるんですね。その“al-”の音は4拍目からタイがかかっていますが、“ア~アレ”と押さない
いで、cresc.せずに“アー”の最初の音を強くください。

262 【wer-den Brü-der,】 “wer-”の“e”の母音をもっと長くします。“ベルデン”と切らずに。

284 【Ja,】 ちょっと鈍かったですよ。

290 【konnt, der steh-le】 dim.をもうちょっと保ってくださいませ
か。急に小さくならない。一番最初の練習でお話しましたけれ
ど、保っていないとp(290)が大きくなりますからね。



313 【Küs-se gap-sie】 もっと子音を固く“キュ...”

315 【ei-nen Freund, ge-】 “ge-prüft”という単語がありますね。みなさん、これ少々汚くていいです。
“ゲ”ってね。日本語の歌曲やっていると鼻濁音というのがありますね。あれに近くならないで、
みなさん。

316 【prüft im Tod; Wol-】 “Tod;”この最後の“d”が聞こえたいんで
すが。こういうのに命賭ける方が10人ぐらいいらっしやると...
いいんですがね。ほかの人はやらなくても自分はやると思ってい
ただいて。



330 【Gott.】 (高く)どうぞ、テナーの人。

428 【Heid_】 “へー”っとおなかで押せますかね。“wie ein He...”とならないように。出た瞬間にア
クセントが要るんですよ。あまりおらばずにどうぞ(笑)。
.....これ同じことが前(420)にもありますから。

431 【--gen!】 “--gen!” “ゲン!”...と。

543 【Freu-de, ~】 みなさん、もうちょっとね、どうなんでしょうね。言葉を1個1個、なんか軍歌を歌っているように立てたいので、1個ずつがキビキビとしたアクセントで。今のはとてもきれいなんですけれどもね、ちょっと迫りに欠けるので、1語1語にアクセント。
.....それです、それ。違いがわかります？また来週戻っていきそうな気がしますけど（笑）。今とってもいいです。そんな感じで。

595 【Seid um- ~】 みなさん、楽譜に書き込んでいただけますか。強く歌わない音...乱暴に歌わない音、“gen,” (597) “nen,” (599)。基本的にはffですからよわくなってはいけません、丁寧な歌うと思ってください。“gen,” (604) “nen!” (606) “-nen.” (618) “-nen.” (626) “-der,” (632)ちょっと柔らかいんです発音が。もっと“ゲ”とください。あの、みなさんそれffですかね？ffの音楽にしたいんです。30dB上がるとかそういうことではなくて、勢いがffでないともずいということ。音量は限度がありますでしょ。言葉の勢いや発音のスピード、そういったことがffだということです。



603 【Seid um- ~】 みなさん、ここから全部がfなのです。ずっと叫びっぱなしの音楽のように聞こえますので、ちょっと音楽的なことでも入れなければならないんですよ。文章とメロディの続き具合で、あんまり強く歌ってほしくない音があるんですよ。逆にもっと強く歌ってほしい音もある。どこかと言うと“Seid-um- (強) Schlun-gen, (弱)” “Mil-li- (強) o-nen! (弱)” 今、2シラブルありましたね。その最後の音(が弱い)。この音をあんまり乱暴に歌わない。そう言いますとね、凄く小さくしてしましますので、小さくするのではないですよ。ずっと後に“Brü-der” という言葉が出てきますね。“der”のほうをホントは控えなければいけない。“(行って：強) (帰って：弱)”。



..... “ズア~” ってケチらずに。

.....言葉は“-gen” “ゲ”とはっきりと、鼻濁音みたいにならないように。“Mil-li...” 遅れないように。

.....なんかちょっとですね、ネバリ気があるんですけど、梅雨のせいでしょうかね（笑）。“ズア~ィ” って聞こえちゃうんですけど、みなさん。

617 【Va-ter ~】 “Va-ter (強)” “woh-nen. (弱)” 。ここもさっきと同じようにちょっとだけ(後ろを)控えてくださると、とっても質が高いものになります。

617 【お話】 ちょっと脱線しますが、“さくらさくら” でもいいですが、たとえばなにも言葉を知らずに外国人がもしも“さくらー！ さくらー！” と歌ったら、僕ら変だと思えますでしょ。これと似たようなもんですね。言葉として“さくらあさくらあ” と歌うととってもきれいに聞こえますね。後ろの音をちょっと控えるとうんと質がよくなります。...小さくするんじゃないんですからね。くだいようですが。.....ちょっとやりすぎ！（笑）。これが怖かったんです。



631 【Ihr stürzt ~】 みなさん、それ強さは?pです。その4小節あとの“Ah-nest” はpp。だから今の出方は小さすぎますよ。何かと思います（笑）。もっと普通に歌ってください。

632 【nie-der, ~】 ここもそうですね。“nie- (強) der, (弱)” 。このあとの“Mil-li-o-nen?” というのは疑問形でcresc.していますから落とさなくていいです。

639 【Such' ihn】 ちょっと（次の歌詞“ u-berm ”に移るのが）早い。これ前回練習したんじゃないですかね。“ ihn ” “ イーン ” です。これはイをのばさなければいけない。
.....慌てないで。

642 【zelt! ~】 “ zelt! ” というfを保って、次の小節が爆発的なffというやつになりたいのですが。

642 【zelt!】 1小節間、fがありますね。これは自然におこることなので、ベートーベンにあまり責任はないんですけども、ここで切るぞというところで（みなさん）1回バウンドするんです。なんかえも言われぬ（ボヨン）というのがあるんですね。“ ツェー ” と最後までねばれますかね。なんとなく息が足りなくなってくるせいか、波形に書けないような音の動きがあるんですね。

644 【Ster-nen】 “ -nen ” はそれほど落とさなくても結構です。長さを保ってください。

650 【~】 ここ宿題です。ハーモニー。

734 【Ah--nest~】 テナーのみなさん、音程があやしいです。

737 【Welt?】 （高さが低い）。もうチョイなんですけどね。あの背伸びしても音程変わらないので（笑）。

.....そうです。低くなりますから気を付けてください。

738 【Such' ihn ~】 cresc.があるんですよ。アルトの皆さん、ほとんど歌いがいのない下から始まってですね、“ Ster--nen-zelt! ” って沈んでいかないで、次（全パート）へ持っていきようなcresc.を。揃ったところはpとなっているんですが、アルトが一足先にcresc.始めますから、それを忘れないでほしいです。
.....音域が低いですからね、十分にcresc.してもおかしくないですからね。

738 【Such' ihn】 “ Such' ” というのは言葉だけでももっと出ませんか。子音が聞こえてほしい。

741 【-zelt!】 次の“ Such' ” にかけてプレスをしてませんね。してます？ “ -zelt! Such' ” ってそのまま入っちゃいませうか。

745 【zelt! Brü- ~】 ここです、ここです、みなさん。“ Brü-（強）der!（弱）”。

753 【zelt muß_】 “ zelt ” にアクセントが付いていますかね？みなさんの楽譜はdecresc.になっているんですか。それ楽譜の間違ひなんです。アクセントなんですホントは。

753 【お話】 ベーレンライターって出版社から新全集が出ているんですよ。世界中これを使ってるんですが、ボーカル譜だけ出てないんですよ。だから間違ったまま。ここはアクセントが正解なんです。

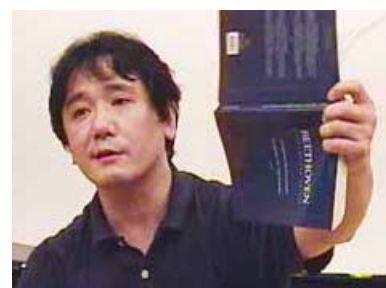
758 【ein_】 みなさん、ずっと言いそびれていたのですが、ここはチイスです。（ナチュラル記号なし）前の小節の音と同じ。オーケストラのツェーの音とぶつかるんですが、ぶつかっていいみたいです。“ ein ” をツェーに落とす楽譜がありますけれども、間違いです。

809 【Men-schen,al-le】 最後だけなぜか“ al-le ” をゆっくり歌いたくなっちゃいますね。同じよう（テンポ）にできますか。

810 【Men-schen wer-den】 “ Men- ” もアクセント。（decresc.ではない。）

811 【Brü-der, wo dein】 たぶん皆さんの楽譜にはdecresc.が書いてあるんじゃないですか。書いてありますでしょ。アクセントの間違ひです。

822 【was die Mo-de】 ソプラノの皆さん、音が高いので大変だとは思いますが、“ was die Mo-de...”



(822) 行って行く前にプレスをとらずに歌えますかね。最後(821)の“der,”が聞こえてこないんです。“was”のあとならどこでもいいですから、そこでプレスをとらないように。そこでとるなというところで(プレスを)取りたくなるんですよ。

822 【was die Mo-de】 “was”にアクセントがいらいます。fです。cresc.してきて、ここがfだというけじめをはっきり。

855 【Seid um-schlungen, ~】 一番最後は疲れていて、なんの努力もしなくなってしまうんですけども、子音ですね。“Got-ter”とか“Toch-ter”とか。こういうのはいつもいつも十分に欲しいんですが、もうちょっとできますかね。“Die sen Kuß der gan-zen Welt!” っと、全部の子音をください。

865 【ü-berm_~】 どっかdecresc.かなんか書いてありますか(笑)。

865 【ü-berm_~】 (ソプラノ・テノール) “zelt_muß ein” (867) はいいんですが、“ü-berm_Sternen-” (865・866) の音形、降りてくる音を正確に欲しいんですが。

885 【Welt! der】 “Welt!” の音。(あやしい).....みなさん、“デール”。まだ直りませんね。

904 【Freu-de, ~】 “-de,” をもうちょっと明確にどうぞ。

906 【Göt-ter-】 みなさん、たいていの人たちが“Göt-” っってはっきり発音しても、揃わなければアンサンブルというのは聞こえないんですよ。タイミングを揃えて欲しいです。“Freu-del!” ... “Göt-ter...”。

920 【fun-ken!】 前の小節と同じテンポで。まだベートーベンは古典派の作曲家ですからね。関係のあるテンポにいくんですよ。

【~】 この間、ここ直しておいてくださいというところはとっても良くなっていますので、安心しました。これもっと言えばよかったですね。もっとたくさん良くなったかもしれない(笑)。あとは何回も同じことの繰り返しになりますので、まとめて言いますが、最後までドイツ語の子音が聞こえたいということ。“der”が“デール”にならないということ。そして後ろの音を控えるという歌い方は音楽的にもむずかしいことなんです。小さくするのではない、大変高度なことにちょっと足をつつ込んだんですが、それが感じられるといいですね。

.....よく音楽の時間に“強拍”と“弱拍”って習いましたでしょ。4拍子なら1と3が強く2と4が弱い。ああいうこと。ブラームスの交響曲ってご存じですかね。あれは弦楽器全員がfで弾くので、まるでローラーでのし板作っているように弾くんですが、でもむこうのドイツのオーケストラが弾くと強拍・弱拍がちゃんとあるんですね。強拍があるということは強く歌わないところがあるということです。これは書いて無くてもそういうふうを感じるものなんですね。それを全世界中しなくなってきたので、“Mil-li-o-nen!” と全部強く歌うようになってきているんですが、ホントは“-nen!” は(弱拍で)収まらないといけない。これは全編にあるんですよ、実は。

.....そしてこれは本番まで言い続けなければいけないことなのですが、みなさんちょっとアホのように“ニコニコ”してほしいんですが(笑)。そう、その顔で歌っていただきたいんですよ。まだ怖い。私、みなさんの前で1楽章からずっとやっておかなきゃいけないので、4楽章に皆さんから立っていただいて、“Freu-del!” と怖く出られると、俺は今までいったい何をやってきたんだろうと(笑)思います。どうぞいまの笑顔のまんまで、いい顔のほうがいい声が出ます。明るいいい顔で歌ってください。どうもお疲れさまでした。



編集後記

プレコンサートが目前に迫っています。みなさん、仕上がりはいかがですか？私のメドフォード用の楽譜、あちこち注意で赤く染まっています。年末の第九とは違った緊張感...! 【munenori@horita.gr.jp】